

海外実務の概要

1. 試験時間

- 13:30 15:30
- 4科目受験（午前中・旅行業法、約款）

国内実務（40分）	海外実務（80分）
-----------	-----------
- 13:30 14:50
- 2科目受験（午前中・約款）

海外実務（80分）

2. 出題数及び配点、合格点

国際航空運賃（8問）	出入国関連（8問）	英語（8問）	観光地理（20問）	旅行実務（8問）
5点×8問=40点	5点×8問=40点	5点×8問=40点	2点×20問=40点	5点×8問=40点

52問・200点満点のうち120点（60%）が合格基準。分野別の足切り基準はない。

3. 出題科目の内容

① 国際航空運賃

具体的な航空旅行の行程が示され、指定された運賃（または複数の運賃から選択した最適なもの）に従って、正しい運賃を選択する。あらかじめ理解しておくべき用語・項目が多いことと、解答の際にチェックすべき項目が多いことが特徴。多くの方がゼロからのスタートになるため、一定の時間を持って取り組みたい科目。

② 出入国関連

出入国に関して必要な旅券、通関手続、検疫、為替管理などに関する法令と、これらの実務手続についての知識が問われる。暗記分野であり事前にしっかり覚えておいて、試験の現場では短時間で高得点を目指す科目。

③ 英語

旅行契約の条件書、観光施設（ホテル、アトラクション、レストランなど）の案内文や入館（場）規則が中心。多くは記載された文章の正誤判断であり、平易な文章であるため時間があれば正解できる。しかし、短い時間でやや長い文章を読むことから、定型的な記載内容、慣用表現、頻出単語などを押さえておくこと効率がよい。

④ 観光地理

世界中の観光地がまんべんなく出題対象。著名な観光地からややマイナーな観光地、美術館、遺跡、名物料理等々幅が広く、高得点は望めない分野。配点は1問2点なので、頻出項目が出題されたら確実に得点できるようにして、短時間で解き終わることが目標となる。

⑤ 旅行実務

時差に関する知識を基にした「飛行時間の計算」「各都市の時間差」、都市や航空会社のコード記号、各国の鉄道に関する知識、出入国際の実務知識（機内持ち込み可能手荷物など）が出題される。例年最後の8問で出題されるため、時間不足になりやすくなる。ときおり予想外の出題があり、定番の時差の知識を用いた問題などに慣れておく必要がある。

4. 学習上の注意点

① 国際航空運賃

多くの方は知識の全くない状態から始めるので、着実に丁寧に基礎的な項目から理解する必要があります。誤った理解や、中途半端な知識は有害なので、時間をかけて確認します。知識が定着したら問題が解けます。また、最後の段階で短い時間で解けるようにします。(講座では解法のテクニックの動画の配信を予定していません。)

② 出入国関連

まず、旅券法と日本帰国時の通関手続きを確実に覚えます。8問のうち6～7問はこの分野から出題されており、事前にしっかり準備して短時間(1問1分以内)で確実に得点できるようにします。最初に概略を理解し、次に頻出分野を確認します。最後に何度か問題演習ができればよいでしょう(ただし、改正が頻繁なので古い問題集は要注意)。

③ 語学

得意・不得意の差が激しい分野です。最初に過去問を1年分チェックして、現在の力と本試験問題のギャップを確認するとよいです。難なく解ければ、特にすることはありません。苦手であれば、簡単な参考書などで知識を確認する必要があります。選択肢にある「設問(日本語)の内容を表す英文」が本文中にあるかどうかを確認する試験ですので、細かな文法力は不要です。

④ 観光地理

国内地理よりもさらに範囲が広く、またときおり難問が出題されます。事前にいくら準備しても高得点できる保証はありません。対策としては、国別に著名な観光都市と観光地を結び付け、類似の観光地を調べておくことです。そのうえで、過去5年分の過去問をチェックできればなおよいです。この程度の準備で対応しても、四肢択一が出題の中心なので、最低限の得点は確保できます。

⑤ 旅行実務

出題内容は多岐にわたり、かつ変遷している。ここ数年は時差を考慮した各都市の時刻や航空機の飛行時間を算出する問題は必ず出題されている。ここは確実に得点できるようにしておきたい。また都市や航空会社のコード記号の組み合わせ問題も、例年出題されている(覚える量はかなり多いですが…)。それ以外では各国の出入国の電子認証システム、鉄道、ホテル、クルーズなどの用語の出題が多いので、空振りを承知で覚えるしかない。

5. 講座内容について

- ・上記5分野について、テキスト・動画を公開します。
- ・全体を2つのグループに分けて、最初に「国際航空運賃、出入国関連、旅行実務」のグループ、その終了後「観光地理、語学」の順に公開予定です。